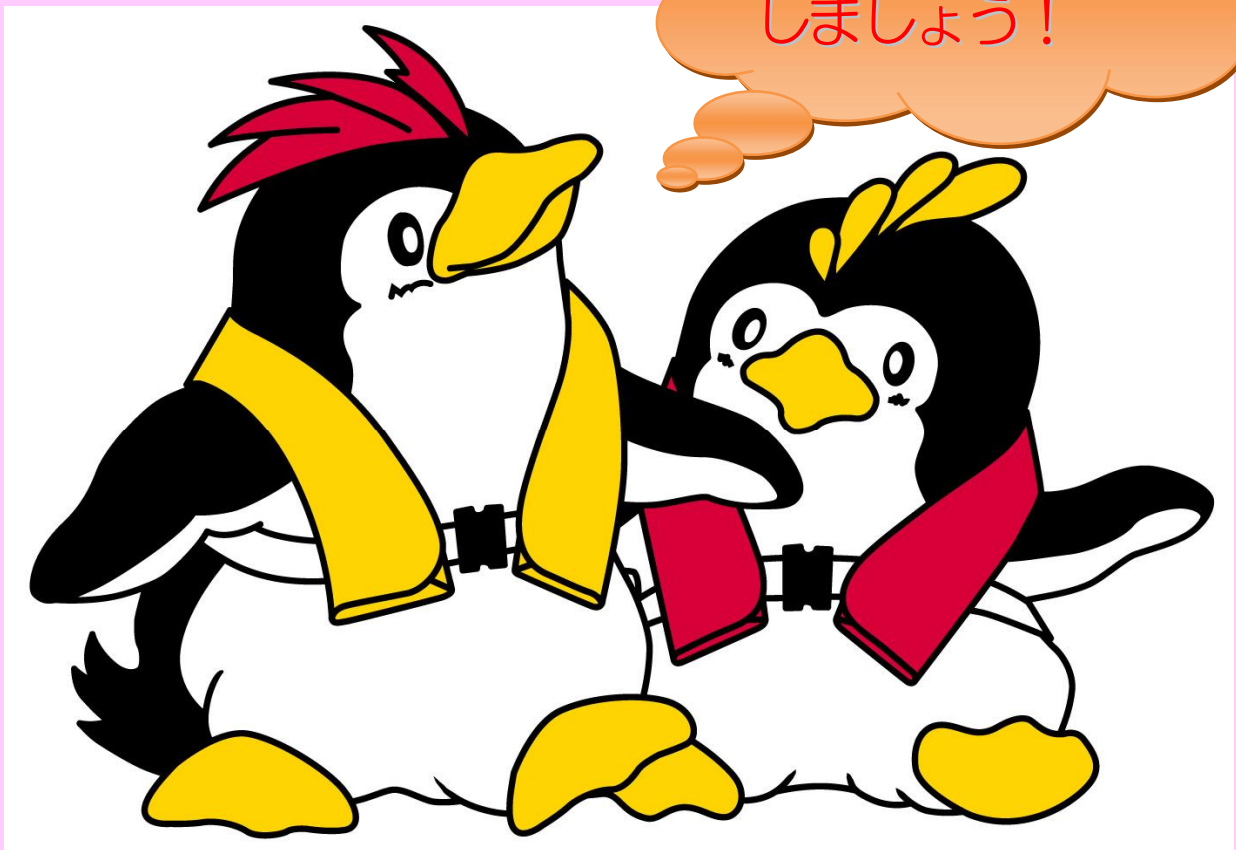


小型船舶用膨脹式救命胴衣

「保守・点検」マニュアル

「ガスボンベ」は
出航前に必ず点検
しましょう！



はじめに

この「小型船舶用膨脹式救命胴衣の保守・点検マニュアル」には、小型船舶用膨脹式救命胴衣（小型船舶用救命胴衣の要件に適合した作業用救命衣を含む。以下「膨脹式救命胴衣」という。）の基本的な保守・点検方法について記載しています。

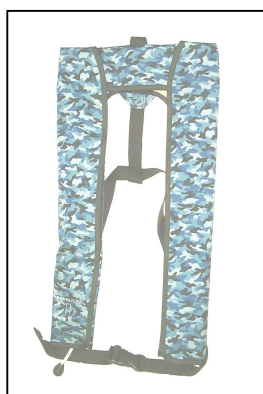
この他にもメーカーが型式毎に定めた詳細な保守・点検方法がありますので、「**メーカーの取扱説明書**」でご確認ください。

また、異常が発見された場合は、着用せずにメーカー等にご相談ください。

1. 膨脹式救命胴衣の種類・構造等について

膨脹式救命胴衣の種類及び各部の名称

首かけタイプ



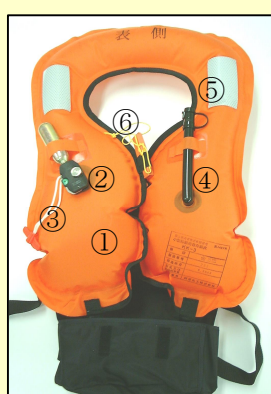
ポーチタイプ



ベルトタイプ



膨脹時



①：気室 ②：膨脹装置 ③：作動索 ④：補助送気管 ⑤：再帰反射材 ⑥：笛

2. 膨脹式救命胴衣の保守・点検等について

メーカーの取扱説明書に従って「**定期点検**」を必ず実施し、さらに次のような点に注意し日常点検を心がけましょう。

(1) 着用前の注意事項

首かけタイプ



本体又は付属品の縫製糸がほつれたり、切れたりしていませんか？

注 中の気室布が損傷していませんか？

ベルトが損傷していませんか？

バックルが破損していませんか？

作動索は外に出ていますか？

胴衣本体の主な点検箇所

ポーチタイプ



バックルが破損していませんか？

ベルトが損傷していませんか？

注 カバー布又は中の気室布が損傷していませんか？

作動索は外に出ていますか？

ベルトタイプ



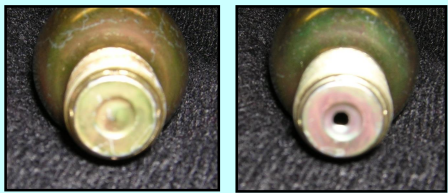
⊘ 作動索を膨脹式救命胴衣本体内部に格納することは絶対にしないでください。

注：気室布(浮力部)は、補助送気管から口で膨らませ空気漏れを確認できます。

自動膨脹装置の主な点検箇所

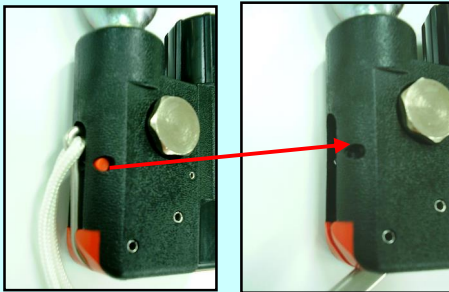
ガスボンベ
ボンベが確実に取り付けられていますか？

ガスボンベ封板
ガスボンベの封板が破れていませんか？

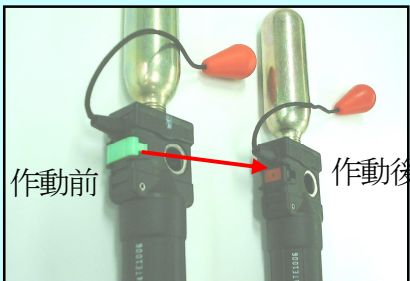


作動前 作動後

※ **安全ピン (シール)**
安全ピン (シール) はついていますか？



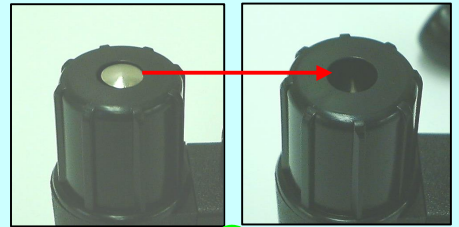
作動前 作動後



作動前 作動後

一度使用したガスボンベは再使用できません。

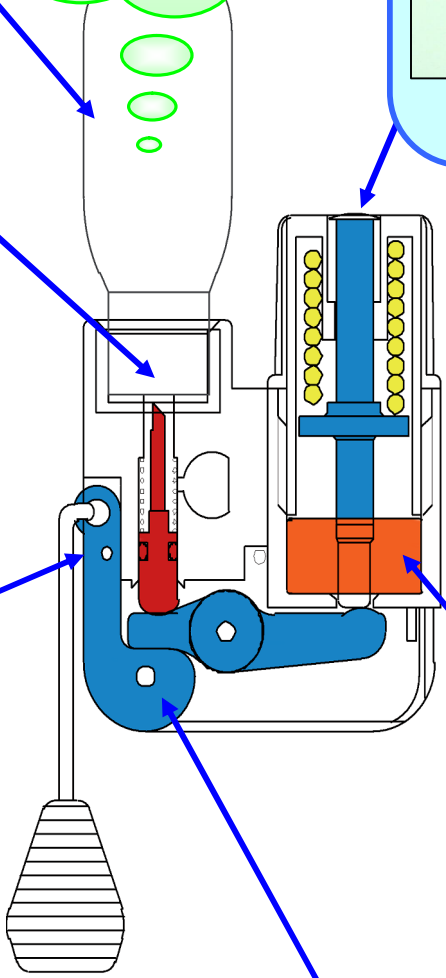
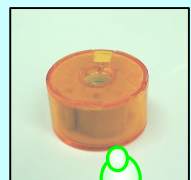
金属部
金属部が指で触れますか？



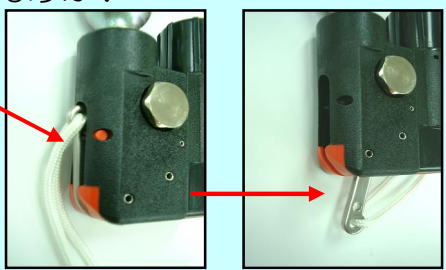
作動前 作動後

指で触れないくらいに入っている場合は膨脹装置が作動しています。

カートリッジ
交換時期は過ぎていませんか？
(5ページ参照)



※ **手動レバー**
手動レバーが正しい位置にありますか？



作動前 作動後

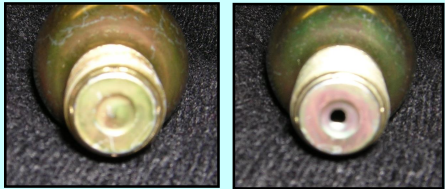
使用していない場合でも保管中に水分を感知し作動する可能性があります。

手動膨脹装置の主な点検箇所

一度使用したガスポンベは再使用できません。

ガスポンベ
ポンベが確実に取り付けられていますか？

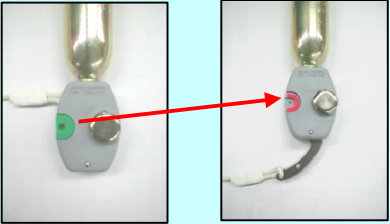
ガスポンベ封板
ガスポンベの封板が破れていませんか？



作動前

作動後

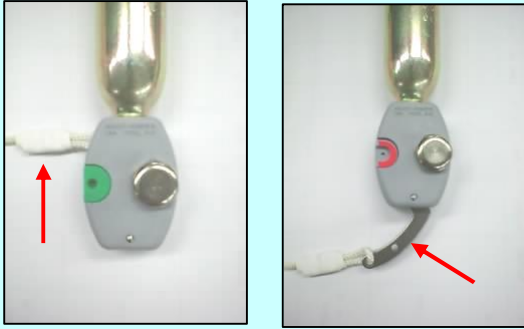
※ **安全ピン (シール)**
安全ピン (シール) はついてありますか？



作動前

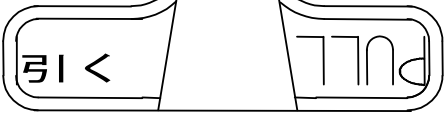
作動後

※ **手動レバー**
手動レバーが正しい位置にありますか？



作動前

作動後



(2) 交換が必要な場合

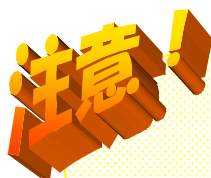
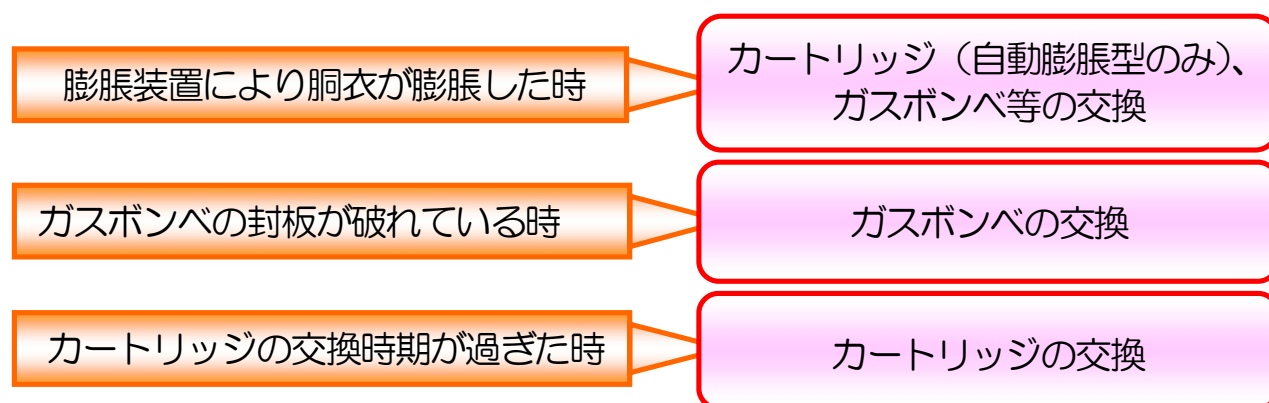
① 胴衣本体

次の事項が該当する場合は、新品に交換してください。

- 「気室布」の損傷
- 「補助送気管」の破損
- 「胴衣本体」又は「付属品の縫製部」がホツシ、キレ
- 「ベルト」及び「バックル」の損傷・破損
- 「胴衣本体の色」の退色

② 膨脹装置

次の事項に該当する場合は、各部の交換を行ってください。



カートリッジ（スプール、マガジン等）は、経年劣化により膨脹装置の作動時間が長くなるため、定期的に交換してください。（環境条件によっては、さらに劣化の進行が早くなります。）

カートリッジ（水分を感知するパーツ）には、使用期限が表記されているものと製造年月が表記されているものとがありますのでご注意ください。



製造年月
(平成16年1月)



製造年月
(2013年2月)



製造年月
(2013年7月)



使用期限2015年5月の例
期限月(5月) 期限年(2015年)

(3) 保管上の注意事項

次の場所や状態で保管しないでください。

- 長時間直射日光が当たる場所
- 高温多湿の場所
- 海水、雨水の浸入しやすい場所
- 膨脹式救命胴衣の上に重い物を置いた状態
- ねずみの害のある場所

(4) その他の注意事項

☆気室布には絶対にエンブレム等を縫いつけない！

膨脹時に縫合部よりガス漏れを起こし、使用不能の状態になります。

☆雨天時には注意！

雨脚が強いときには、胴衣内部に浸入した水分により自動膨脹装置が作動し、気室を膨脹させる恐れがあります。

☆折りたたみ方は正確に！

自動膨脹装置の作動の遅れや気室布等に傷が発生する恐れがあります。

☆膨脹した後は？

膨脹させ使用した後は、気室内部のガスを補助送気管より完全に抜いてください。(膨脹装置により膨脹させた場合は、カートリッジ、ガスボンベ等の交換も忘れずに！)



✓ 使用済のガスボンベが
取付けられている膨脹式救命胴衣が
備え付けられている事例がありました。

✓ このような救命胴衣を着用して入水した場合、
本来の機能が発揮されませんので人命に
かかわる重大な事故を招く恐れがあります。

✓ このため、定期点検に加えて、
出航前に膨脹式救命胴衣のガスボンベ等の
点検を必ず行いましょう。

※点検方法は本マニュアル3ページ及び4ページ参照



JCI ホームページ <http://www.jci.go.jp>

平成 29 年 5 月作成